



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 7
平成29年9月29日(金)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

「地域と宮前中生」

校長 中村 淑人

朝夕の涼しさに、清々しい秋を感じる季節となりました。

9月1日(金)の文化体験では、平日にも関わらず、地域の講師の皆様にご協力いただき、23講座を78人の方を講師としてお迎えして実施することができました。本校の文化体験は今年で21回目となりました。その間、講師の方々には、地域と本校を繋ぎ、まさに、地域の教育力を学校教育に注いでいただいております。生徒も、普段の学校の授業では体験できない伝統文化などを体験でき、視野を広める貴重な時間であり、ご指導いただいた地域の方々との触れ合いを通し、生き生きとこやかに活動することができる機会となっています。職場体験学習や文化体験学習を通しての生徒の成長は、学校内の教育では補うことのできないものであり、地域の協力、地域の教育力があってこそその宮前中の生徒があると地域の皆様に感謝申し上げます。

また、9月16日(土)の文化祭には、小学校の各校長先生方をはじめ、保護者の皆様、地域の方々など、多くの方々に参観いただき、とても盛大で実りある文化祭が実施できました。第39期生徒会のスローガン「前中 dream canvas ～一人一人の手で輝く未来を描こう～」のもと、生徒会、文化祭実行委員、生徒全員が協力し、演劇部、合唱部、吹奏楽部、市英語弁論・暗唱大会代表、海外派遣報告、美術部、科学部、パソコン部の展示や発表を中心に行われました。

午前中の文化祭の後、午後からは3回目となりましたPTA主催のバザーが行われました。今までのバザーに加え、来年度の開校40周年に向けてのPR活動、部活動の紹介とユニホームの展示もあり、生徒、保護者、小学生、地域の方々を楽しめるように工夫された内容の濃い充実したものになりました。

さて、宮前中学校の生活の指針として、「礼を正し 場を清め 時を守る」を掲げています。

これは、教育学者の森信三先生の言葉で、この三つは「三大原則にして、いかなる時・処(ところ)にも当てはまるべし」と述べられています。

「礼を正し」とは気持ちの良い挨拶をして、人の話を静かに聴くことです。挨拶は人間関係の第一歩です。挨拶は相手を認め大切にすることであり、そうすれば自分も大切にされます。

「場を清め」とは、「きれいにする、清掃する、整理整頓をする」ことです。きれいに整頓された場所ならば、一人一人の心も落ち着き、みんなが集中して物事に取り組めるはずです。

「時を守る」とは、まさに「時間を守る」ことです。時間はお互いに守るものです。約束の時間を守ることが社会では信用を得る第一歩となります。この三つは、まさに私たちの生活の基礎基本であり、社会で生活していく中で生徒一人ひとりがしっかり身につけていかななくてはならないことです。そして、この三つが守れるなら、暮らしやすい社会となるはずです。

本校生徒のボランティア活動は定着してきましたが、地域での挨拶の励行や道路の歩行の在り方など、まだまだの部分があります。地域の皆様からの声掛け等のご協力をいただきながら、生徒をより良く育てていきたいと思っております。

さて、今年度も半分が過ぎ、折り返しの時期になりました。1年生、2年生は、9月30日(土)から新人戦が始まります。19日(火)には、生徒会朝礼で壮行会を行い、各部活動の選手を全校生徒で応援しました。3年生は、いよいよ自分の進路選択に向けて、取組む時期となりました。

保護者の皆様・地域の皆様には、今月も引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

『My School (宮前中) is the Best』